情報通信分野におけるフォローアップ作成要領（案）

情報通信分野における「分野別推進戦略の18年度実施状況等フォローアップ」は、以下の要領にて、とりまとめる。

1. 担当委員

「重要な研究開発課題」「推進方策 各論」は、「情報通信分野7領域における担当委員」を中心にとりまとめる。

「戦略重点科学技術」は、以下の担当委員を中心にとりまとめる。

(1) 次世代スパコン	田中委員
(2) 高度IT人材育成	齊藤座長補佐
(3) 次世代半導体	池上座長補佐
(4) ディ스플레이等	池上座長補佐
(5) ロボット	三浦座長補佐、谷江委員
(6) ソフトウェア	土居委員
(7) 次世代ネットワーク	齊藤座長補佐
(8) ユビキタス	齊藤座長補佐
(9) 情報活用技術	安田委員
(10) セキュリティ	山口委員

2. スケジュール

委員からの全体に関わる追加意見を募集。(3月19日12時まで)
戦略重点科学技術の対象施策について、進捗状況を所管省庁へ現在確認中。
担当委員が決まっている項目は、担当委員を中心に3月中にとりまとめる。
フォローアップ全体については、奥村座長がとりまとめる。
情報通信PT第3回会合(4月3日)にて議論の上、承認。
分野別推進戦略総合PT(4月予定)にて報告。

情報通信分野「戦略重点科学技術」対象施策における平成18年度の進捗状況等【 省】

戦略重点科学技術	18年度対象施策	対象予算 (百万円)	府省名	施策全体の目標	推進体制 (実施主体とプロジェクトリーダー)	平成18年度の成果・進捗 (トピックス、情報発信等)	平成19年度以降の課題 (平成19年度継続施策)
(例)	サイバー攻撃防御機構の研究開発	10,000	省	サイバー攻撃を検出し、被害を最小限に減少させる技術の研究開発する。	全体取りまとめ： 研究所(プロジェクトリーダー： センター長) ネットワークシミュレーション： 株式会社 アルゴリズム開発： 大学	平成18年度は、小規模のネットワークシミュレーション環境を構築し、この環境上でSyn Flood攻撃を検出・防御する手法の研究開発を行った。その結果、検出防御機構により、Syn Flood攻撃が発生してもシステムがダウンすることなく運用できることを実証し、その結果を国際 シンポジウムで発表した。	平成19年度以降、複合攻撃に対する検出・防御アルゴリズムを研究開発、検証する。また今後ノード数を増やし、より実環境に近づけた環境でシミュレーションを行う。